

# 深志卓球部だより

2010, 6, 9

## 県高校総体を終えて

### 男子学校対抗 ベスト8

シングルス・ダブルス1・2回戦敗退

(あと一步の北信越大会を今回も逃す)

学校対抗1回戦 (対飯田長姫)		
深 志	3-1	長 姫
松 島	11-4	代 田
	11-3	
	11-6	
東	5-11	志 水
	4-11	
	6-11	
松 島 田 原	12-10	志 水 熊 谷
	8-11	
	5-11	
	11-6	
田 原	14-12	熊 谷
	5-11	
	11-8	
	11-7	
橋 詰	11-5	知 久
	11-8	
	11-6	
	11-8	

学校対抗2回戦 (対須坂商業)		
深 志	3-1	須坂商業
松 島	11-5	川 島
	12-10	
	11-8	
橋 詰	8-11	青 木
	5-11	
	5-11	
松 島 田 原	11-8	宮 澤 竹 内
	8-11	
	11-9	
	11-8	
田 原	11-9	宮 澤
	16-14	
東	8-11	竹 内
	5-11	
	9-11	

今回の学校対抗の組み合わせは第三シードのブロックに入り、実力的には一步相手に譲るものの、拮抗した実力の組み合わせとなり、展開次第では上位の入賞も可能な位置に入った。

一回戦の飯田長姫は、五月の伊那オープンで対戦済みであり、その時は難なく勝利をものにしたが、今回は相手の仕上がりがよく、前半大いにもつれる展開となる。1-1で迎えたダブルスは意外にも苦戦し、途中まで相手のリードを許す。最終セットは一進一退のジュースになり、落とすことも覚悟したが、何とか踏みとどまって最後をものにした。このあとは相手の気持ちの切れもあり、残りの試合をとりきって、二回戦に進めることができた。

二回戦の相手は、これまで公式非公式で2回対戦し、いずれも逆転負けを喫している

学校対抗 3 回戦 (対伊那北)		
深 志	2 - 3	伊那北
松 島	1 1 - 4	山 岡
	1 1 - 8	
	7 - 1 1	
	8 - 1 1	
橋 詰	3 - 1 1	太 田
	7 - 1 1	
	8 - 1 1	
松 島 田 原	4 - 1 1	山 岡 下 平
	1 1 - 8	
	1 1 - 9	
田 原	1 1 - 9	三 澤
	8 - 1 1	
	1 1 - 8	
東	1 1 - 2	下 平
	1 1 - 3	
	6 - 1 1	
	7 - 1 1	
	5 - 1 1	

北信二位の須坂商業が相手である。今回は三回目の対戦となり、なんとしてでも雪辱したいため、過去の敗戦の反省から、前日に次の作戦を立てて試合に臨む。

相手の攻撃パターンは、短いボールを出して敵を前へ寄せたあと、相手のコーナーを深くねらって、左右に打ち分ける展開をとる。過去このクロスボールに打ちあぐみ敗退しており、今回はクロスに対してひたすらストレートを攻める指示を出す。ダブルス以降の試合はこの作戦が功を奏し、クロス攻撃に慣れた相手が、ストレートボールには手を出せず、こちらの攻撃が次第に決まっていた。5番を待たずに今回初めてこれまで苦杯を嘗めてきた相手を下すことができた。

つづいて迎えた3回戦の相手は、南信1位の伊那北である。この試合に勝てばベスト4で、今年から北信越総体の出場枠がふえ、そのまま北信越出場が決まる。昨年の新人戦県大会では伊那北が3位入賞の結果を残しており、二枚看板の山岡・下平がチームの核となっている。

これまで公式対戦はないが一度練習試合に行っており、かなり拮抗した展開になっていた。ダブルスが大会屈指のペアであり、このダブルスは崩せないと思われた。

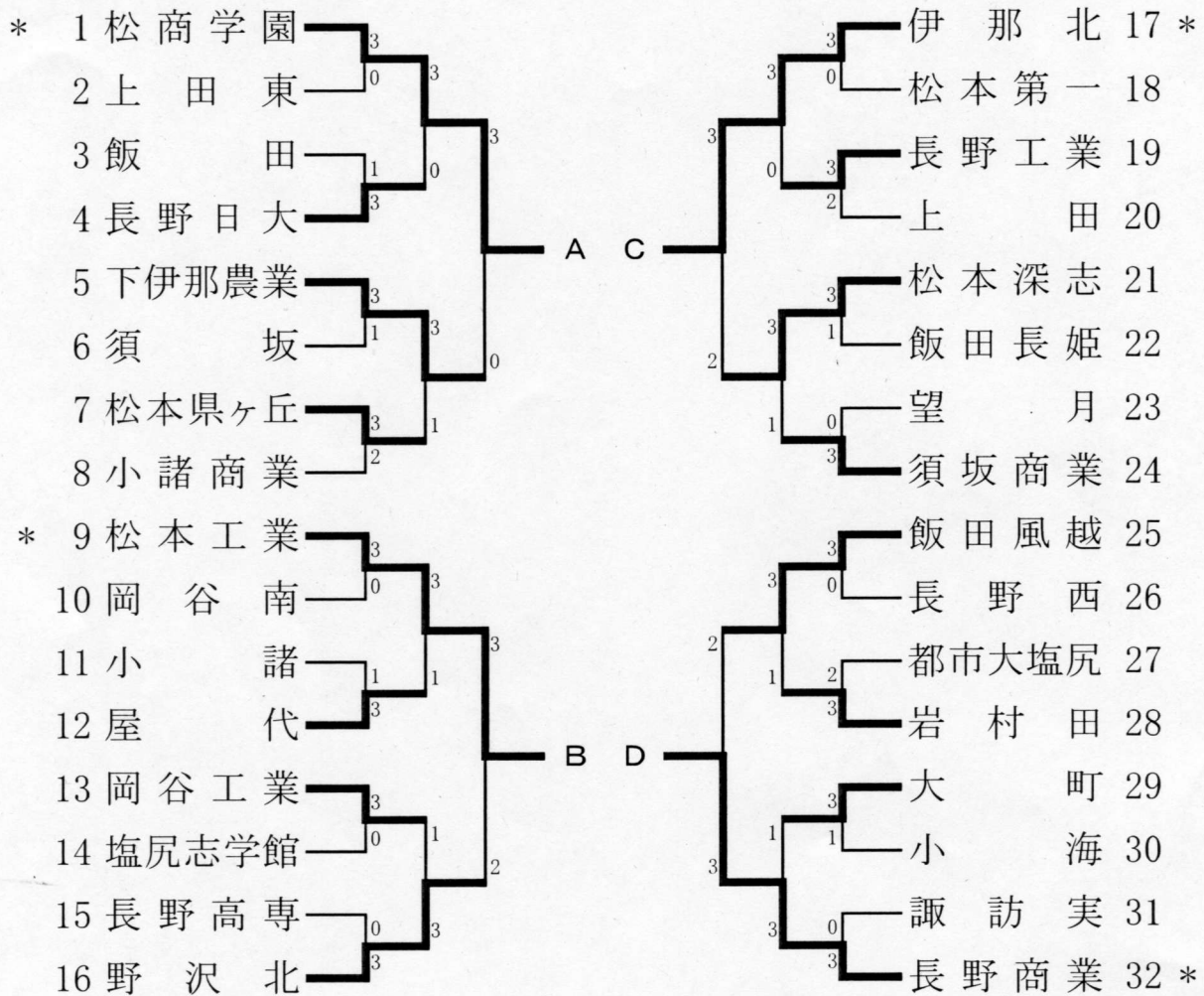
1番の松島が、主将対決で相手の山岡に猛追され、最終セットを落とす。このままでは一方的に終わると思われたが、3番のダブルスになって、圧倒的不利と思われていた難敵に1セットしか許さず、みごとな試合で殊勲の星を挙げる。4番は実力でとれたが、5番に回されたときの致命的な欠陥が、この大一番で出てきてしまい、最後無念の敗退となる。

実質的には3年生4人のチームで、主力の松島・田原が支えてきており、この一角が崩されると極めて苦しい展開となってしまう。昨年とは力不足が否めなかったが、今回の県大会3回戦進出(ベスト8)は上出来であった。その3回戦でも、大いに力を発揮し、伊那北と互角試合を展開したことは、予想外の結果であった。もし1番をものにしていたら、という仮定をしたくなるが、それはここまでの展開を誉めるべきであろう。

学校対抗の翌日は、シングルス・ダブルスが行われ、特にダブルスでは再び伊那北ペア(第三シード)と対戦する。ここでも一進一退のゲームで、最後はジュースにもつれるが、運命の神は伊那北にほほえむ結果になった。

シングルスでも善戦したが、シード選手の壁をこえられず、試合を終了した。大会全体を振り返ると、松商の首位は変わらないが、昨年インターハイから全く外れた長野商業が今回は、個人戦で健闘し、復調を示した大会となった。

平成22年度長野県高等学校総合体育大会 卓球競技会  
男子学校対抗(B・T)

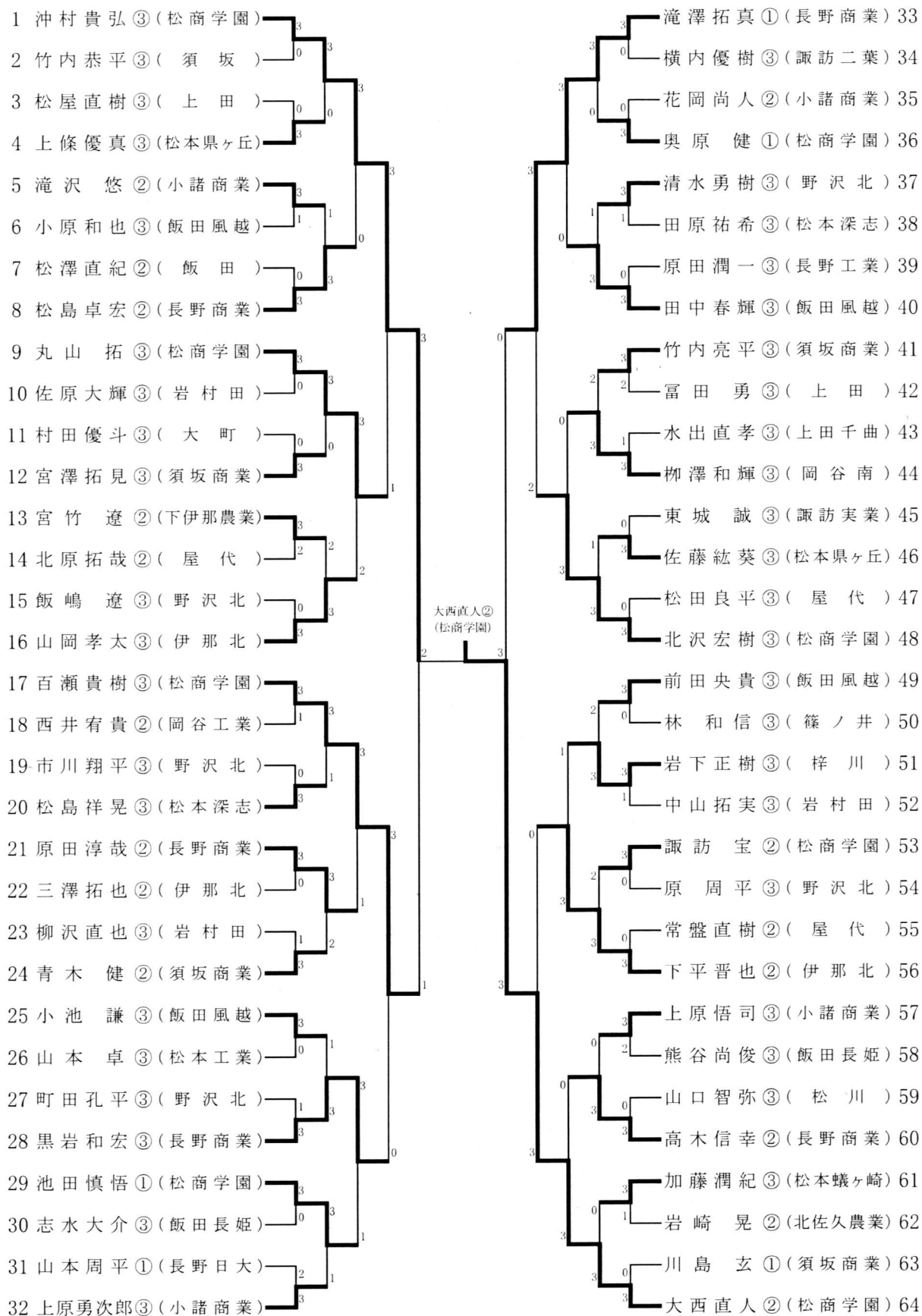


(男子決勝リーグ)

No	チーム名	A	B	C	D	得点	順位
		松商学園	松本工業	伊那北	長野商業		
A	松商学園		3-0	3-0	3-1	6	1
B	松本工業	0-3		1-3	0-3	3	4
C	伊那北	0-3	3-1		0-3	4	3
D	長野商業	1-3	3-0	3-0		5	2

① A-B, C-D  
② A-C, B-D  
③ A-D, B-C  
表彰は、3位2チーム

平成22年度長野県高等学校総合体育大会 卓球競技  
男子シングルス(B・S)





平成22年度長野県高等学校総合体育大会 卓球競技会

男子ダブルス(B・D)

1	沖村貴弘 (松商学園)	山下岡孝太 (伊那北) 25
2	柳瀬和輝 (岡谷南)	柳沢直也 (岩村田) 26
3	岡部亮也 (長野日大)	松島祥晃 (松本深志) 27
4	荻原尚人 (岩村田)	原田潤一 (長野工業) 28
5	横山和哉 (大町)	山口智弥 (松川) 29
6	東城竜誠 (諏訪実業)	町田孔明 (野沢北) 30
7	市川翔平 (野沢北)	宮澤拓見 (須坂商業) 31
8	青木健一 (須坂商業)	村田優斗 (大町) 32
9	花岡雄基 (岡谷工業)	柳岡澤佑介 (上田東) 33
10	上佐優真 (松本県ヶ丘)	志熊水谷介 (飯田長姫) 34
11	田中惇貴 (上田)	黒岩和宏 (長野商業) 35
12	松島卓宏 (長野商業)	丸山直人 (松商学園) 36
13	宮澤弘明 (下伊那農業)	松富直樹 (上田) 37
14	北原大己 (梓川)	平福直真 (下伊那農業) 38
15	滝沢尚悠 (小諸商業)	松田良平 (屋代) 39
16	伊藤成正 (長野商業)	青木龍周 (松本第一) 40
17	三澤拓也 (伊那北)	飯島遼 (野沢北) 41
18	北沢宏樹 (松商学園)	小池謙也 (飯田風越) 42
19	山川将晶 (須坂商業)	池田慎悟 (松商学園) 43
20	木嶋浩一 (野沢南)	井上士夢 (長野東) 44
21	山本卓祐 (松本工業)	中塚悠貴 (飯田) 45
22	田中春輝 (飯田風越)	上原勇次郎 (小諸商業) 46
23	北原拓哉 (屋代)	横山太一 (松本工業) 47
24	佐原大拓 (岩村田)	高滝信幸 (長野商業) 48

商小信羊  
滝澤拓真  
(長野商業)